曲亭馬琴著

傾城[illegible]
傳第[illegible]

歌川國[illegible]

上帙巻之[illegible]

へ13
3019
3

亭馬琴著

冬の柳に乱るゝ暁送る月を櫛として
けしく往方ハ青嵐が河内路の寝寤の床

傾城水滸傳第四編之二

唐山の梁山泊を
日本の江鎮泊に
写して鳴の水鏡とて
誰姿見の画であれ
一部八冊當春の新板
御覧の通油町なる鶴屋が
彫當たる目貫の繪冊子

百夜の柳の下涼み
細谷川を帯とせて
結ぶ義烈とヨヲカが浪速津を出る舩の纜

歌川國安画

或予に問て曰傾城水滸傳ハ何の為にして作せる。予これに答て曰為生活作せるのミ夫儒佛巫医百抜の徒渡世の為にせざるハなし。陋拙杜撰も咎むるに足らず。况稗官者流の談に於て月色に筆するものあれども作者の用心聊亦見るべきものあり。彼清の逸田叟が女仙外史の一書を見ずや。燕王の反逆を心誅せんと欲する為に閨軍女兵を鑽出して妖婦唐賽児が勤王の小説一部とあせると彼ハ則妖婦なれども正法と下燕軍とのそ外道とハ迺されを水滸傳なる草賊をもて忠義と播紳とのて大賊とーたるよーれ比すべくその勧懲に廷逕ありされバ由くされを観べし亦との傾城水滸の冊子も作者の用心知るべきのミ事を好であらざるの評すべきを評せずまく私論臆談烏夜の銃炮に似たる批評もありと毀誉褒貶をなす争ひの起る所吾只避て通さんと欲する成識れと古人もいひけむ彼論を弥うなせバ鵬と斥鷃の類に陥べし

曲亭馬琴戯識

鐵壺眼白蛇
山盛阿剛

歌舞伎看板
篠芒朱良井

屋久手虎右衛門速綱
屋久手が妻
阿井戸

梁間郡領重門
刃物三昧
行抜の阿狸

宋公明村女君子
春雨の大葉子
閻八婆々
騰魚

左
右
走書の安宅子
弾語の義太吉

左の上へ

右の下へ

右の下へ

四の下へ

四中へ

左上へ

次へ

傾城大雙六（けいせいおおすごろく） 初編 二編 狂斎入

江戸名物花見雙六（えどめいぶつはなみすごろく） 日本橋より振出し 日本橋へ上りと致候 彩色風の面白き双六なり

風流三升むき（ふうりうみますむき） 瀬川路考彩色風之

晴雨両天傘（せいうりやうてんがさ） 大形代銀七匁五分 小形同 六匁 余家の品と違ひ極上の手利のものなり

黒油美玄香（くろあぶらびげんかう） 一包 代八銅 右あぶらの妙薬なり

製法 坂本氏

製法売弘

蘭方霊応丹功録（らんぽうれいおうたんこうろく） 壱包代

売弘所 江戸室町三丁目 河内屋長兵衛

取次所 同 通油町 鶴屋喜右衛門

曲亭馬琴著

傾城水滸傳第四編

歌川國安画

上帙巻之下

けいせい水滸伝第四編

馬琴作

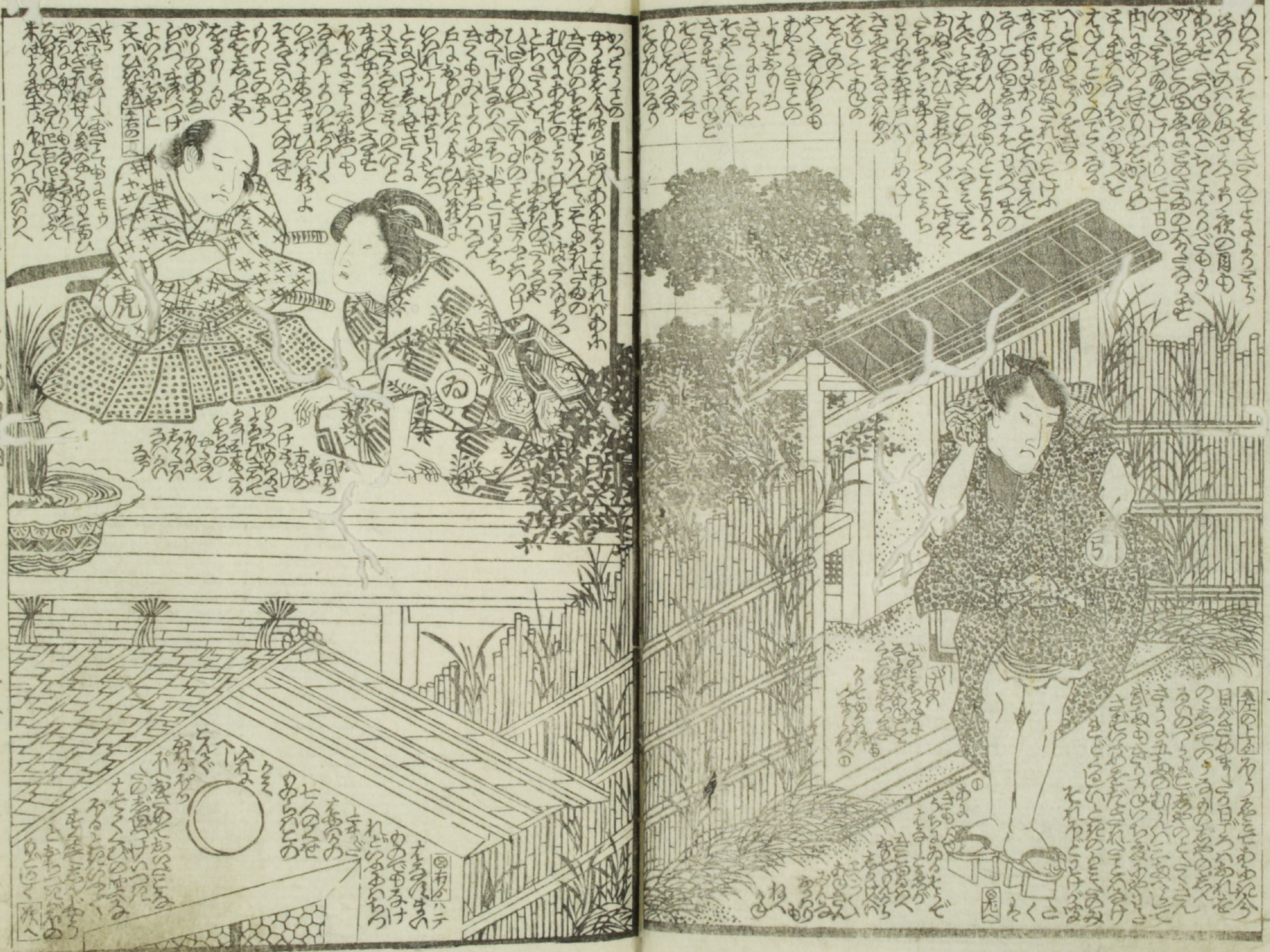
穴居よく雨を知り

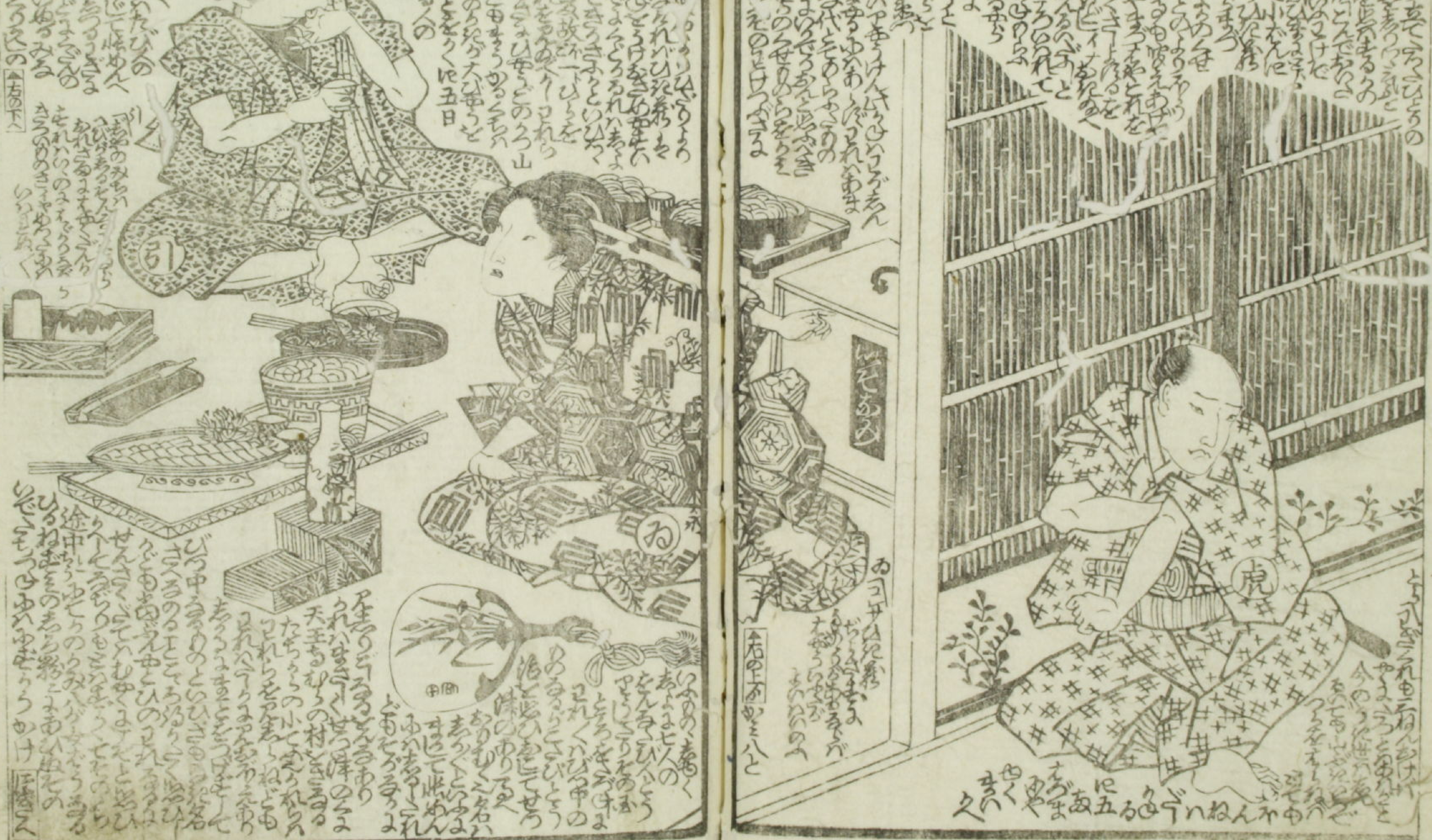
岡田引三が勝山村の旅人帳

國安画

我から崎と渡りあふ

討手の兵を焼殺の日枝山下風


虎
ね
ら


虎
みそあめ
ね
引
左の上へ
右の下へ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

宋公明
右筆
稲妻

図左の上へ

[illegible]

図右の下へ

[illegible]

家傳神授湯 一包代百銅

精製奇応丸 大包代弐朱 小包代五分

熊胆黒丸子 一包代

製薬 神田明神下同朋町東横丁 本家 濱田 澤氏

弘所 元飯田町中坂下 四方みそ店向 たき沢氏

文政十一年戊子春 鶴屋喜右衛門板

御免江戸暦開板所 毎年十月下旬頃より売出し申候

載陽帖 全一冊 南山禅師書 四季和文章 石摺

新撰 日本名所之繪 唐紙摺一枚 蕙齋鍬形紹眞筆

新撰 女古状揃國生竹 大本 半紙本 両品出来 高井蘭山編撰

三國一夜談 全五冊 画入読本 曲亭馬琴作

即考百籤 全一冊 劉卜子豊劉先生著

蓑笠翁 随筆 玄同放言 初編二編 共六冊 第三編三冊 近刻

還魂紙料　古画入　二冊出来　柳亭種彦随筆

歡童戯筆　遊言画手本　一名　鳥羽繪早まなび　出来

廣益塵劫記　懐中早割大全　小本一冊

新形染彩目　揷花手引糸　前編出来　前北斎為一筆　後編嗣刻

芝居役者　似顔早稽古　後編　全一冊　五渡亭國貞画

八文舎自笑評　三ヶ国之津　藝品定　役者評判記　全三冊　一名 [redacted]　當亥正月二日より

懐寶一覧　花乃都路　全

傾城水滸傳　曲亭馬琴作　哥川國安画　四編八冊　五編八冊

天竺の方便　唐土の寓言　日本の神　三國妖婦殺生石　五柳亭徳升作　哥川國安画　十五冊

喜怒哀樂堪忍嚢　式亭三馬　悴虎之助作　哥川國安画　六冊

屋根船の提灯　白魚船の篝火　宴佃大網嶋　市川三升作　哥川國貞画　六冊

忠臣蔵外傳　伊呂波引寺入節用　柳亭種彦作　哥川國貞画　十二冊

道外武者太平樂　一九作　英泉画　三冊

有喜世諺草　同作　同画　三冊

継子立波の濡衣　戀川春町作　同画　三冊

金ヶ嶽夢之世話　同作　同画　三冊

江戸名物　團扇地紙問屋　錦絵摺　通油町　鶴屋喜右衛門版

美艶仙女香　四十八銅　坂本氏

隅田川両岸一覧　袋入画本　北斎筆　全三冊

江戸名所東鑑　同断　蕙齋筆　全三冊

江戸名所物見丘　同断　清長筆　全三冊

傾城水滸傳第四編
馬琴著
國安画
文政十一年
戊子孟陽
發兌
通油町
鶴屋
喜右衛門板

曲亭馬琴著

傾城水滸傳第四編

歌川國安画

下帙巻之上

傾城水滸傳年々出評判宜補板元製本繁昌仕冥加至極大慶
[illegible]候然者曲亭翁ニ相頼當年ハ四編五編引續出板仕候處
別而骨折ニ而妙作ニ御座候處是迄之並合巻仕立ニ而ハ表紙紙摺損シ易く
追々出来兼候ニ付遊ニ而御座候売捌方出来兼候而ハ不宜ニ付及承候而当年分
上本ニ仕表紙仕立方格別念入出来候ニ付並合巻同様ニ而直ニ而其外壹貫上ヶ候
尤此迄編五編ハ二冊ツヽ中毎編上本ニ仕候間[illegible]仕候間
向後[illegible]出来之上ハ板元ニ而[illegible]

曲亭馬琴著

文政戊子孟春嗣梓刊行

義に仗く毒を除く虎の尾の桜戸が忠義堂に坐席譲

傾城水滸傳第四編之三

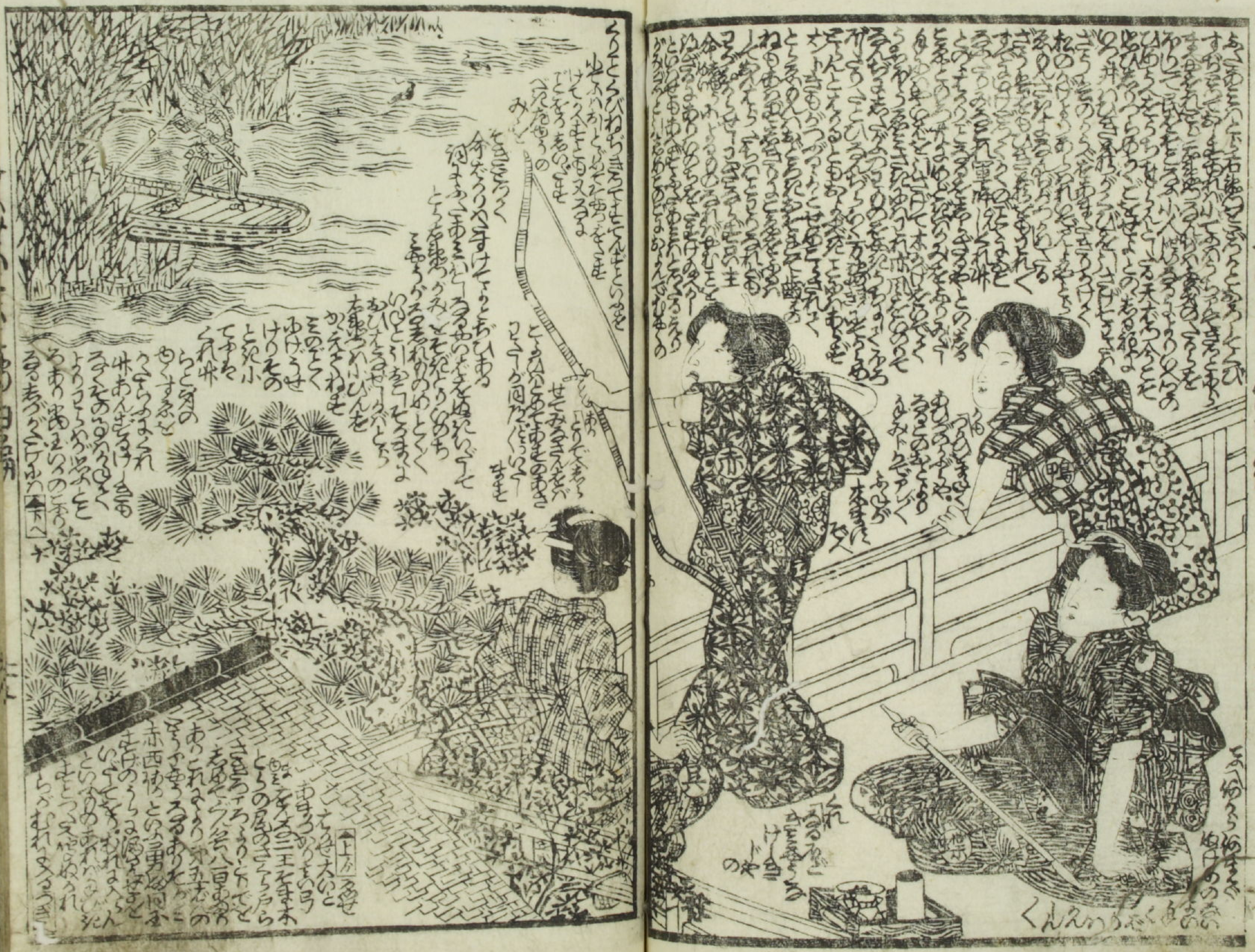
砦に依く敵を謀る智思海の呉竹が琵琶の湖に軍を配

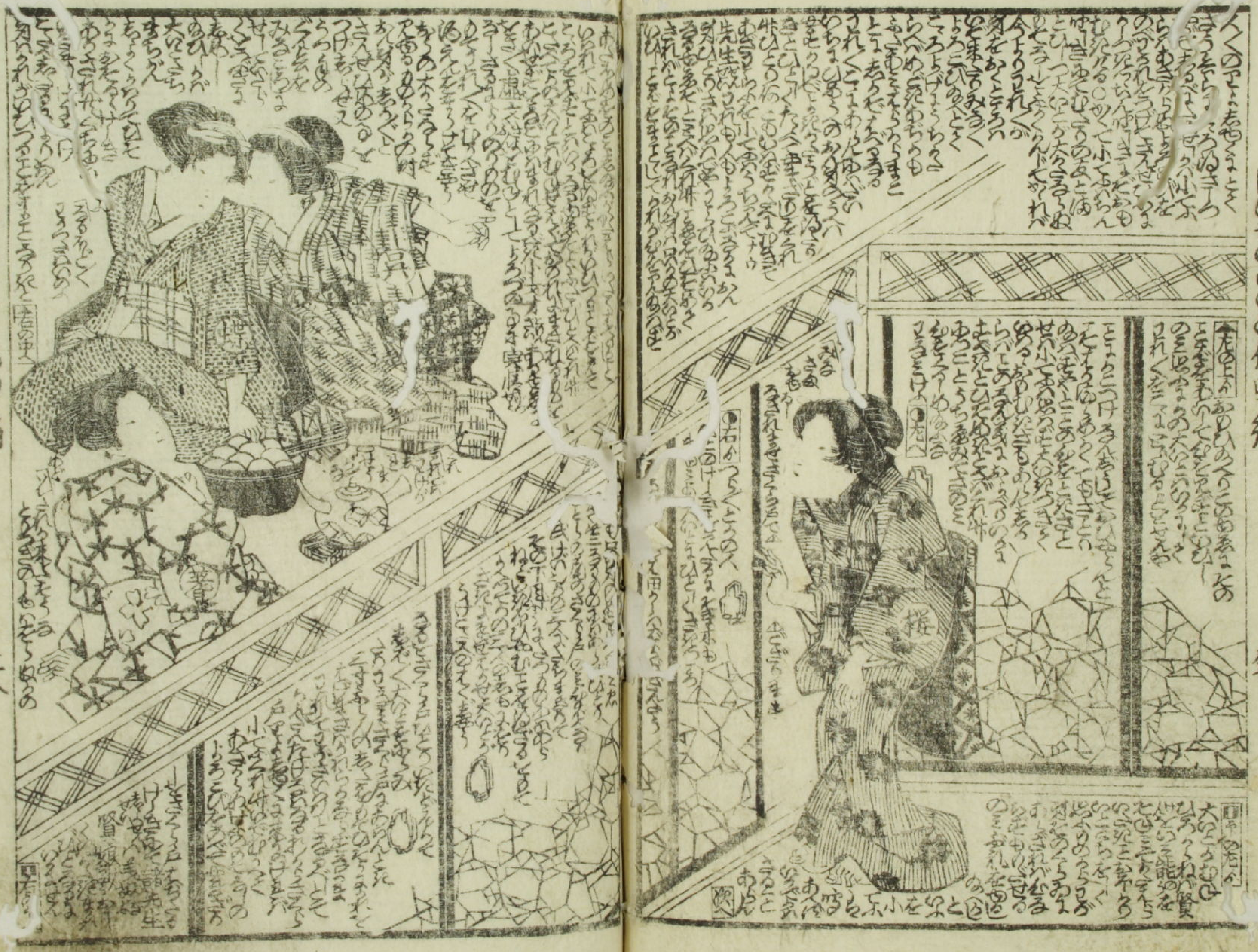
歌川國安画

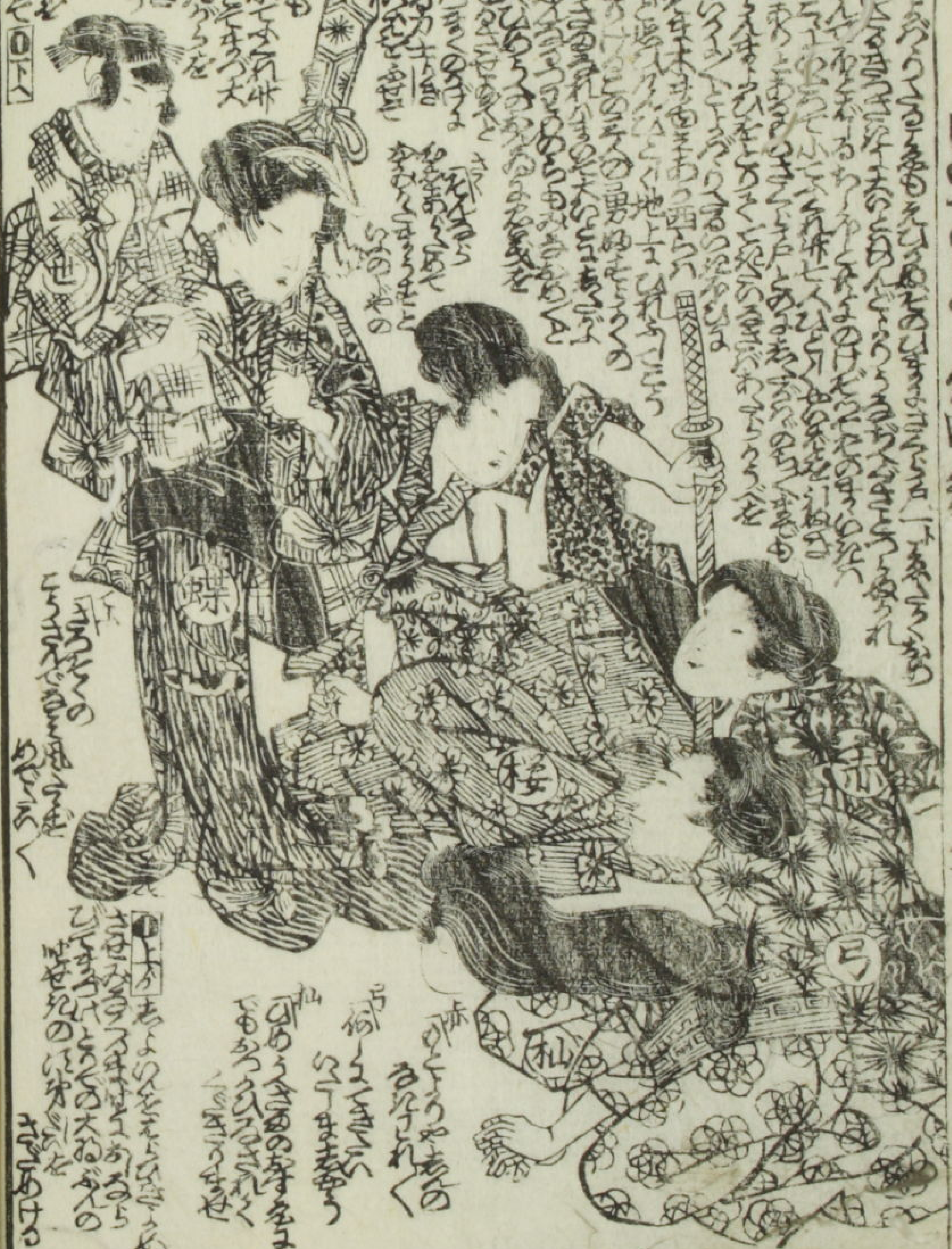
江戸書林地本問屋仙鶴堂

[illegible]

三三町







[illegible] 後のてきを残せんとぞ ○下へ

[illegible]

○上より [illegible] きこえける

赤 [illegible]

弓 [illegible]

松 [illegible]

曲亭馬琴著

傾城水滸傳第四編

歌川國安画

下帙巻之下

傾城水滸傳 四編之四

作者の翻譯ハ小説の物

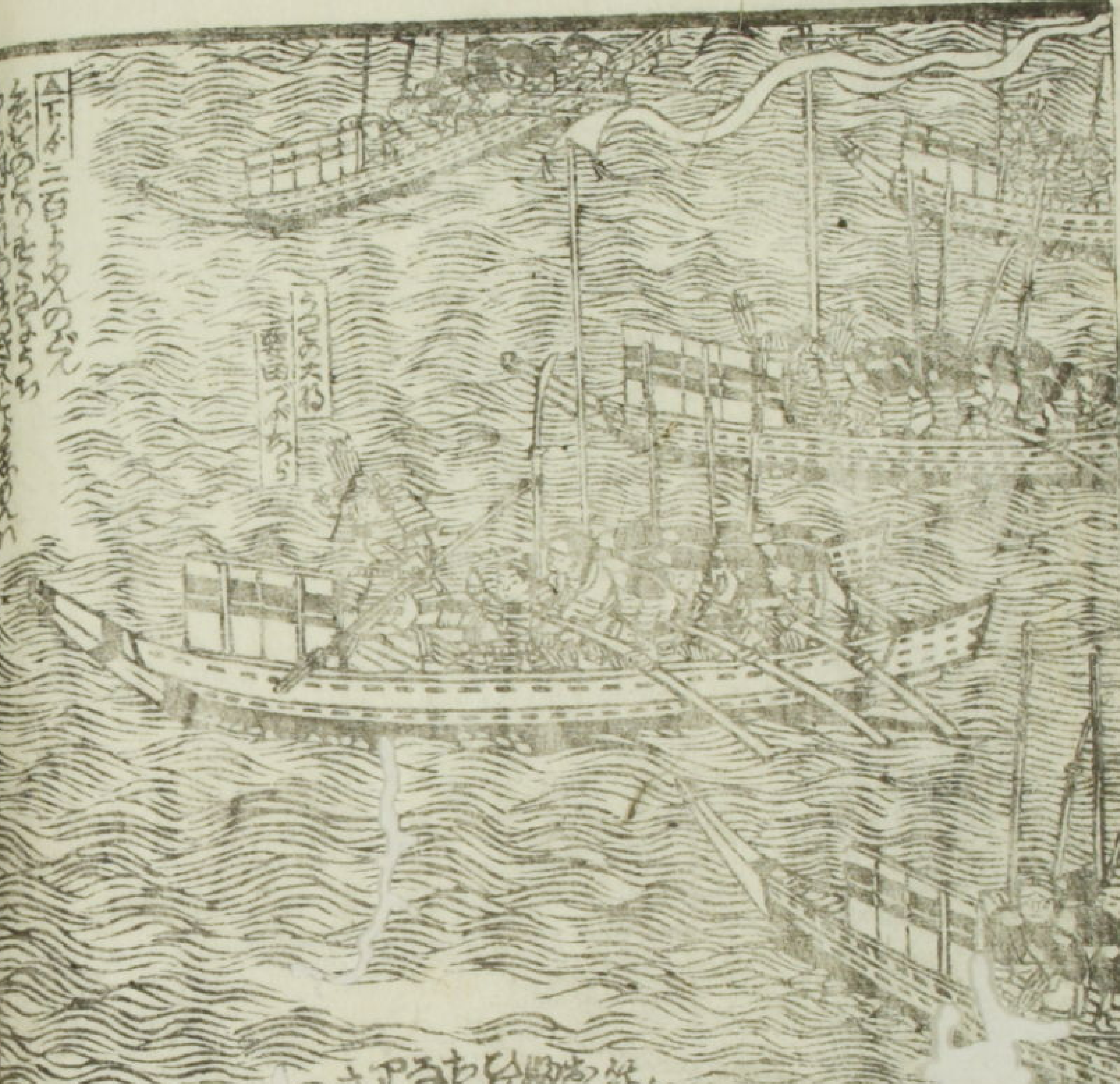
恩をうけ恩とせし春雨の大菓子
玉を返しく樋を購ふ江鎮泊へくゝりつ
一筆志めも心の誠ハ三つみの金銀花

當年積三五畫壇七五畫畵翻譯本

つるや喜右衛門 板

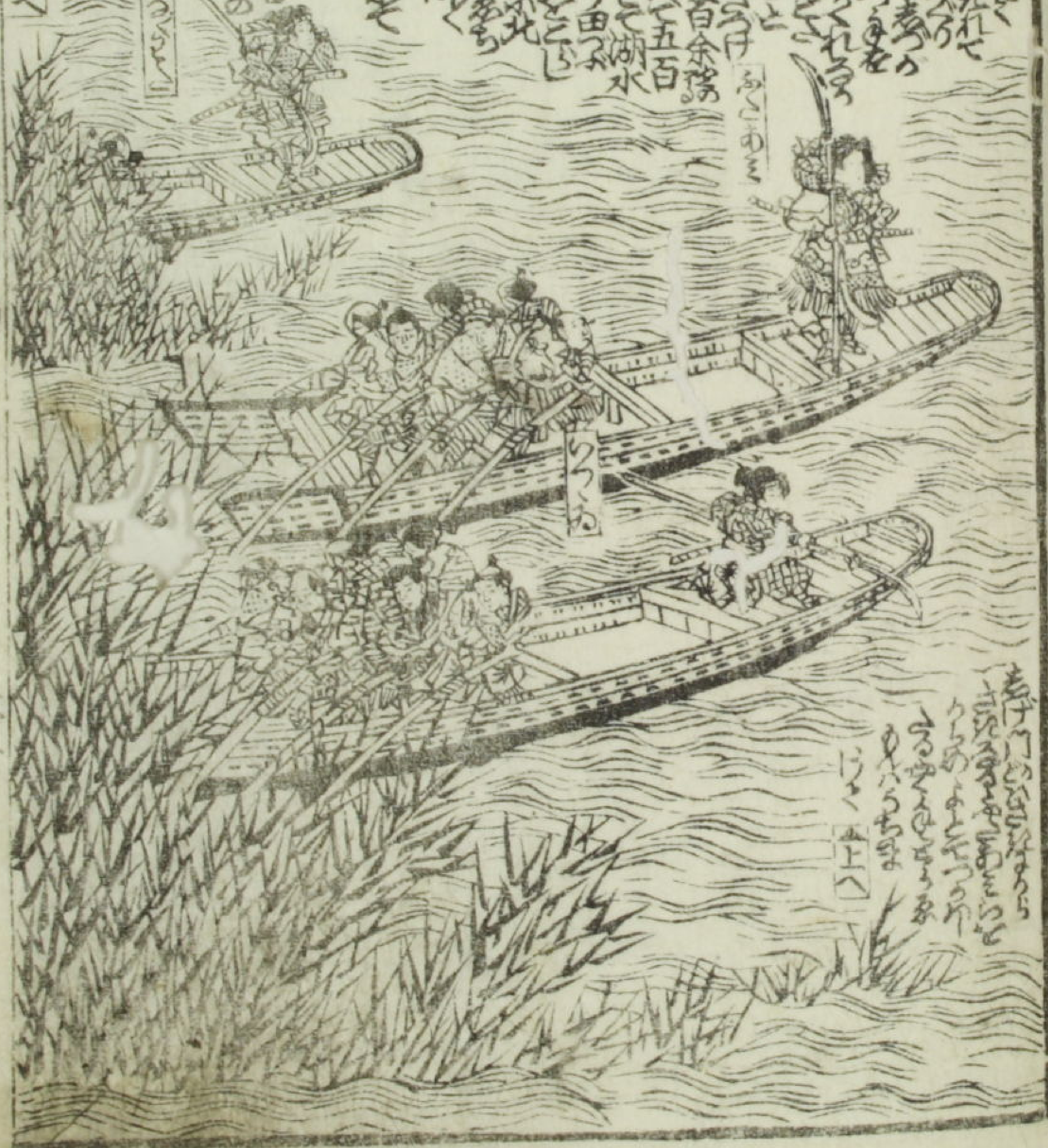
画工の傳神ハ冊子の新作

疵を稟く怨を讓せ彈語の義太吉が
色ありけより敵を易へその通宵の引階子
此雁がつけし従恨の初ハ一封の密文売



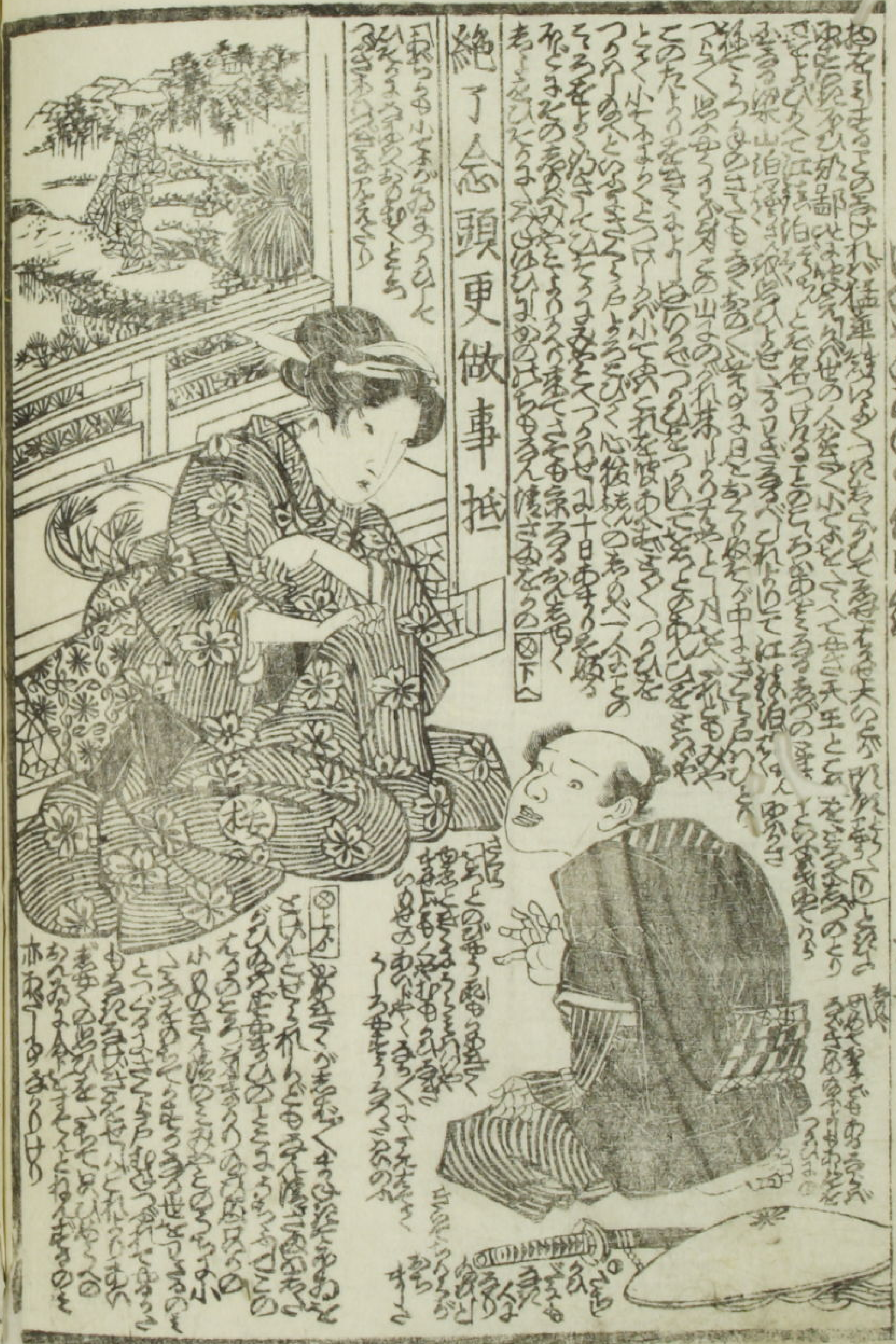
[illegible]

[illegible] 二百余艘 [illegible] 五百余艘 [illegible] 五百 [illegible] 湖水 [illegible] 軍議 [illegible] 地理 [illegible]

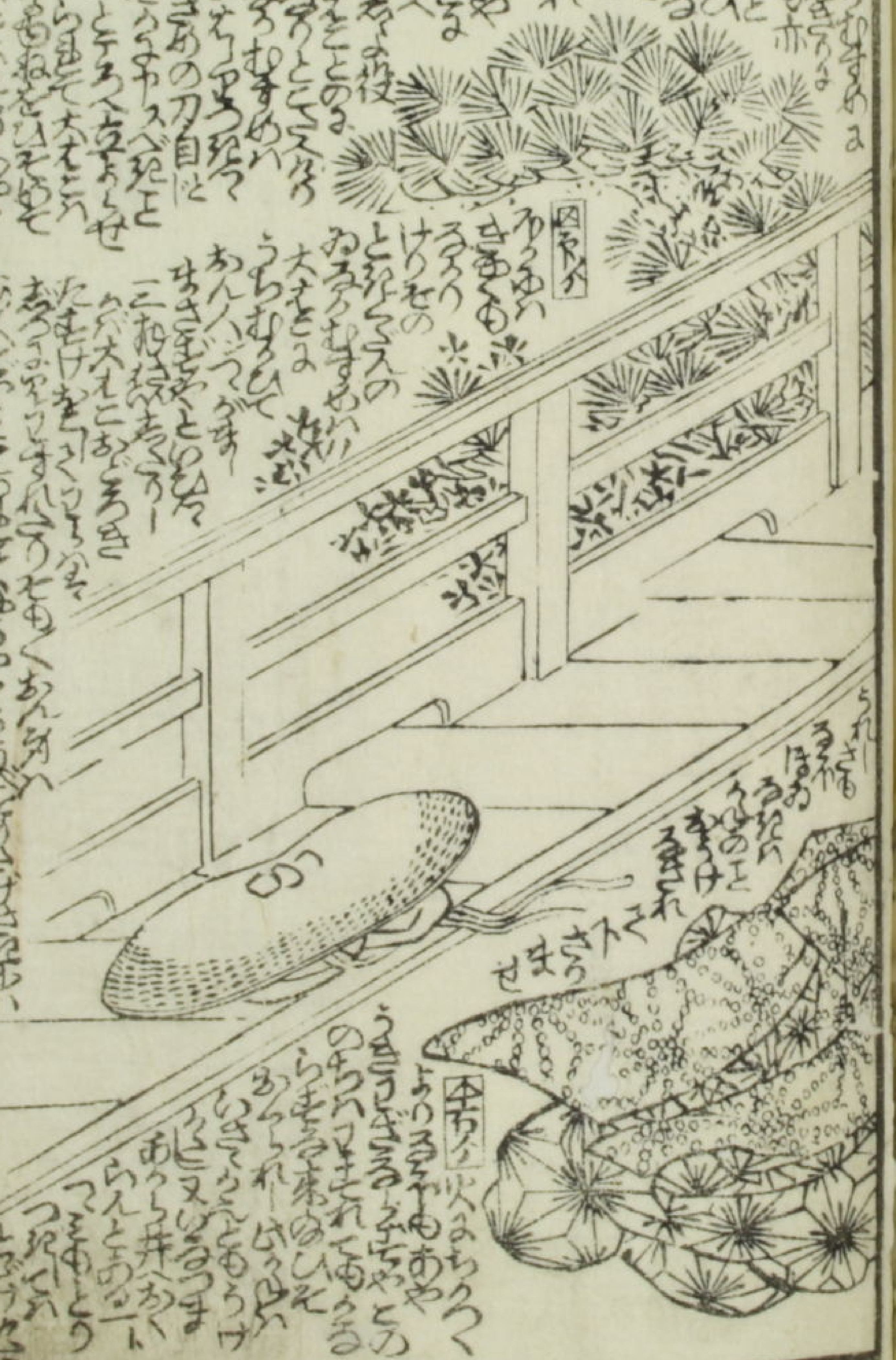


[illegible]

虎の巻


絶了念頭更做事抵

赤
髪
鬼
てん



馬琴作
國安画
浄書 谷金川

家傳神女湯 [illegible]
精製奇應丸 [illegible]
熊胆黒丸子 [illegible]
製薬弘所 神田明神下同朋町東横町 本家 瀧澤氏
元飯田町中坂下山方御奉行向 丸紀沢氏

[illegible]

文政十一年戊子春 鶴屋喜右衛門板

御免江戸暦開板所 毎年十月下旬頃より賣初め申候

載陽帖 全一冊 南山禅師書 李和文章 四摺

新撰 日本名所之繪 唐紙摺一枚 蕙齋鍬形紹眞筆

新撰 女古状揃園生竹 大本 半紙本 両品出来 高井蘭山編撰

三國一夜談 全五冊 画入讀本 曲亭馬琴作

即考百韱 全一冊 劉卜子豊副先生著 蔵箱添

簑笠翁随筆 玄同放言 初編二編 共二冊 第三編 三冊 近刻

還魂紙料　古画入　二冊出来　柳亭種彦随筆

[illegible]

戯童　遊言画手本　一名　鳥羽絵早まなび　出来

廣益　懐中早割大全　小本一冊

[illegible]

新形染彩目　挿花手引糸　前編出来　後編嗣刻

[illegible]

芝居似顔早稽古　後編　全一冊　五渡亭國貞画

[illegible]

役者　八文舎自笑評　三箇の津　役者評判記　全三冊

當子正月二日より [redacted]

[illegible]

懐寶　花乃都路　全

[illegible]

傾城水滸傳　曲亭馬琴作　四編八冊　五編八冊　哥川國安画

天竺の方便忘語　唐土の窮計　日本の[illegible]　三國[illegible]殺生石　五柳亭徳升作　哥川國安画　十冊

喜怒哀楽堪忍袋　式亭三馬倅虎之助作　哥川國安画　六冊

屋根船の提灯　白魚船の篝火　[illegible]天網嶋　市川三升作　哥川國貞画　六冊

忠臣蔵外傳　伊呂波引手節用　柳亭種彦作　哥川國貞画　十二冊

道外武者太平楽　一九作　英泉画　三冊

有喜世諺草　同作　同画　三冊

継子立波の[illegible]　戀川春町作　同画　三冊

金ケ[illegible]之世話　同作　同画　三冊

江戸名物　錦絵　團扇地紙問屋　通油町　鶴屋喜右衛門版

美艶仙女香　四十八銅　[illegible]坂本氏

隅田川両岸一覧　袋入画本　北斎筆　全三冊

江戸名所東鑑　同　蕙齋筆　全三冊

江戸名所物見丘　同　清長筆　全三冊

右三色[illegible]